

2020年8月3日

【朝鮮半島レポート】第18回

軽工業品に注力も、低迷続く北朝鮮の貿易 韓国側分析、19年も制裁強化前の半分水準

朝鮮半島経済研究会

開城工業団地にある南北連絡事務所を爆破するなど、南北関係や対米関係で強硬姿勢を強めている北朝鮮。背景には経済問題があるとされ、2017年に強化された国連の経済制裁などで北朝鮮の対外経済関係は厳しい状況が続いている。本レポートでは韓国の大韓貿易投資振興公社（KOTRA）が発表した「2019年度北朝鮮の対外貿易の動向」報告書の内容を紹介しながら、北朝鮮の貿易動向について分析する。

【ポイント】

- ① KOTRAの調査によると、2019年の北朝鮮の貿易額は14.1%増の32.4億ドルとなり16年以來3年ぶりに増加に転じた。ただし2017年の国連制裁強化前の半分の水準にとどまった。
- ② 輸出は前年比14.4%増の2.8億ドル、輸入は前年比14.1%増の29.7億ドルで、貿易赤字は26.9億ドルとさらに悪化した。
- ③ 中国との貿易は前年比13.6%増の30.9億ドルであった。北朝鮮の貿易総額に占める割合は95.4%で依然として高い貿易依存度を示した。
- ④ 貿易額増加は、国連制裁決議の影響を受けない時計部品やかつらなどの軽工業品輸出、人造繊維や穀物の輸入の増加によるものである。
- ⑤ 今年に入ってから新型コロナウイルスの影響で対中貿易が再び減少に転じており、北朝鮮の対外貿易はしばらく厳しい状況が続くとみられる。

■貿易総額は前年比14.1%増、3年ぶりに増加に反転

KOTRAが7月23日に発表した「2019年度北朝鮮の対外貿易の動向」報告書によると、2019年の北朝鮮の貿易規模は前年比14.1%増の32.4億ドルとなった。2016年以來3年ぶりに増加に転じたが、2018年度の急激な貿易減少によるベース効果（Base Effect）により国連制裁が本格的に施行される前の半分の水準にとどまった。

北朝鮮の輸出は前年比14.4%増の2.8億ドル、輸入は前年比14.1%増の29.7億ドルと集計された。貿易赤字は2018年度の23.6億ドルから2019年度26.9億ドルへと14.1%増加し、貿易収支が悪化した。

最大の貿易相手国である中国との貿易は前年比 13.6%増の 30.9 億ドル（輸出 2.2 億ドル、輸入 28.8 億ドル）を記録し、貿易赤字も 14.1%増の 26.6 億ドルに達した。北朝鮮の貿易総額において中国が占める割合は 95.4%と、2018 年の 95.8%から小幅に縮小したが、2 年連続で 95%を超過し、高い貿易依存度を記録した。

中国の税関統計上、中国から北朝鮮への原油輸出は 2014 年以降ゼロとなっているが、KOTRA の報告書は年間約 50 万トン水準の取引があると推定し推定金額を反映させている。報告書に反映された原油輸入推計額 2.9 億ドルを除いても 94.9%高い水準である。

国別では中国に次いでロシア、ベトナム、インドが北朝鮮の 2、3、4 位の貿易相手国となった。ベトナム、南アフリカ、ナイジェリアが新たに 10 位圏に入った。しかし中国、ロシアを除いた 10 位圏の国が北朝鮮の対外貿易に占める割合は、すべて 1%未満で微々たる水準である。日本は独自の対北朝鮮貿易制裁を行っており、2009 年以降の貿易額はゼロである。

2017 年に採択された国連決議において北朝鮮の貿易制裁項目が大幅に増えたことから、決議の影響を受けない軽工業製品が 2018 年から北朝鮮の主要な貿易品目として定着する様相を見せている。

北朝鮮最大の輸出品目は、時計及びその部分品（HS91）で 2018 年に 1533.7%の増加率を記録したのに続き、2019 年も 57.9%増加して輸出品目の第 1 位となった。かつらが含まれている調製羽毛、羽毛製品、造花及び人髪製品（HS67）の輸出は、2018 年に続き 2019 年も 40.9%増え、輸出品目第 3 位を記録した。展示用模型が含まれている光学・医療機器・部品（HS90）も 47.5%の増加率を見せ、輸出品目第 5 位へと急浮上した。北朝鮮の現地労働力を活用した賃加工製品が鉱物性燃料に代わり北朝鮮輸出を牽引する様相を示している。

北朝鮮最大の輸入品目は 2018 年と同様、原油・精製油など鉱物性燃料及び鉱物油（HS27）で、3.5 億ドルと輸入総額の 11.7%を占めた。加えて、プラスチック及びその製品（HS39）、人造繊維製品（HS54）、動物性又は植物性の油脂及びその分解生産物（HS15）などの輸入上位品目は前年と変わらないが、食糧不足の影響から穀物（HS10）の輸入が前年比 242%増加を記録し、新たに輸入品目第 5 位を記録した点が目につく。

北朝鮮の貿易の推移

（単位：百万ドル、%）

区分	2016	2017	2018	2019
輸出	2,821	1,772	243(↓86.3%)	278(↑14.4%)
輸入	3,711	3,778	2,601(↓31.2%)	2,967(↑14.1%)
合計	6,532	5,550	2,843(↓48.8%)	3,245(↑14.1%)
貿易収支	-890	-2,006	-2,358(↑17.5%)	-2,689(↑14.1%)

カッコ内は前年比増減率

最近 10 年間の北朝鮮の年度別輸出入推移



■北朝鮮の最大の貿易相手国は中国で、対外貿易全体の 95.4% 占める

中朝貿易の規模は 30.9 億ドルで、北朝鮮の貿易総額に占める割合は 95.4% であり、前年（27.2 億ドル、95.8%）に比べ 0.4 ポイント減少した。

北朝鮮の対中輸出額は輸出総額の 77.6%、対中輸入は輸入総額の 97.0% を占める。これは、原油（HS2709）輸入推定額 2.9 億ドル（約 50 万トン）を反映した数値であるが、未反映時は 94.9% である。

最近 3 年間の中朝貿易の推移

(単位：百万ドル、%)

年度	北朝鮮の輸出		北朝鮮の輸入		輸出入合計		貿易収支
	金額	増減率	金額	増減率	金額	割合	
2017	1,651	-37.3	3,608	5.4	5,259	94.8	-1,957
2018	195	-88.2	2,528	-29.9	2,723	95.8	-2,334
2019	216	10.7	2,879	13.9	3,094	95.4	-2,663

2019 年の中朝間の主要貿易品目

(HS コード 2 桁、単位：百万ドル、%)

区分	品目	金額	割合	増減率
対中 輸出	時計および部分品 (91)	49	23.0	57.9
	調製羽毛、羽毛製品、造花及び人髪製品 (67)	34	15.8	40.8
	鉄鋼 (72)	34	15.7	6.1
対中 輸入	鉱物性燃料及び鉱物油* (27)	319	11.07	-4.5
	プラスチック及びその製品 (39)	275	9.54	23.8
	人造繊維製品 (54)	189	6.58	36.9

*原油 (HS2709) 輸入推計額 2.9 億ドル (約 50 万トン) 反映

第 2 位の貿易相手国であるロシアとの貿易規模は 2019 年に前年比 40.6% 増の 47.9 億ドルだが、北朝鮮の貿易総額に占める割合は 1.48% に過ぎない。北朝鮮の主な輸出品は楽器及び部分品 (HS92) であり、主な輸入品は石油などの鉱物性燃料 (HS27) であった。

2019 年の口朝間の主要貿易品目

(HS コード 2 桁、単位：千ドル、%)

	品目	金額	割合	増減率
対口 輸出	楽器並びにその部分品及び附属品 (92)	1,592	52.42	11.0
	ボイラー及び機械類並びにこれらの部分品 (84)	587	19.33	443.5
	医療用品 (30)	422	13.90	-
	電気機器、音響、映像設備及び部分品 (85)	119	3.92	197.5
	家具、寝具等 (94)	93	3.06	-
対口 輸入	鉱物性燃料及び鉱物油 (27)	27,194	60.61	25.8
	動・植物性の油脂及びその分解生産物 (15)	4,232	9.43	1.2
	穀物 (10)	3,791	8.45	239.4
	穀粉、加工穀物、麦芽、でん粉等 (11)	3,424	7.63	44.7
	医療用品 (30)	2,515	5.61	80.8

北朝鮮の対外貿易はアジア地域に偏っている。中国の他、ベトナム (3 位)、インド (4 位)、バングラデシュ (6 位)、パキスタン (8 位) などアジア諸国が上位に位置しており、アジア地域との貿易が絶対的な割合を占めている。(貿易総額の 97.0%)

2019 年に北朝鮮の 10 大貿易相手国に新たに顔を出したのは、ベトナム、南アフリカ共和国、ナイジェリアであり、10 大貿易相手国から離脱したのは、ドイツ、ガーナ、モザンビークであった。

2019年の北朝鮮の10大の貿易国の現況

(単位：百万ドル、%)

順位	国家名	北朝鮮の輸出		北朝鮮の輸入		輸出入合計		割合	前年 順位
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率		
1	中国	215.5	10.7	2,878.9	13.9	3,094.4	13.6	95.36	1(-)
2	ロシア	3.0	53.2	44.9	39.8	47.9	40.6	1.48	2(-)
3	ベトナム	24.9	-	3.0	-	27.9	-	0.86	-
4	インド	1.4	-60.9	10.4	-41.5	11.8	-44.9	0.36	3(↓1)
5	ブラジル	0.2	-71.6	10.6	462	10.8	320.6	0.33	9(↑4)
6	バングラデシュ	3.4	5.2	0	-	3.4	5.2	0.10	6(-)
7	スイス	0	-	3.3	2.4	3.3	2.4	0.10	5(↓2)
8	パキスタン	2.7	-57.3	0	-	2.7	-57.3	0.08	4(↓4)
9	南アフリカ	0.3	-16.1	2.2	67.5	2.5	50.6	0.08	14(↑5)
10	ナイジェリア	1.9	4.7	0.6	-	2.5	37.7	0.08	13(↑3)

10大貿易相手国であるにもかかわらず、中国、ロシア以外の8カ国の貿易の割合はそれぞれ1%未満であり極めて微々たる水準である。

アジア地域との貿易規模は前年度27.6億ドルから31.5億ドルへと13.8%増加したが、全体の割合で見るとアジア地域が占める割合は、前年度97.2%から97.0%に小幅で縮小した。

2019年の地域別の対北朝鮮貿易の現況

(単位：百万ドル、%)

順位	地域名	対北朝鮮輸出	対北朝鮮輸入	合計	割合	主要貿易 相手国
		金額	金額	金額		
1	アジア	2,895.3	250.7	3,146.0	96.95	中国
2	CIS	46.5	4.4	50.9	1.57	ロシア
3	米州	12.8	7.8	20.6	0.63	ブラジル
4	アフリカ	4.5	12.2	16.7	0.52	南アフリカ
5	欧州	7.3	2.2	9.5	0.29	スイス
6	中東	0.6	0.5	1.1	0.03	トルコ

■北朝鮮の労働力を活用した軽工業製品を中心に輸出が増加

前年度に1533.7%の大幅な増加を見せた時計および部分品(HS 91)の輸出が2019年にも継続して増加し、北朝鮮最大の輸出品目として浮上した。

かつらに代表される調製羽毛、羽毛製品、造花及び人髪製品(HS 67)の輸出も40.9%の高い増加を見せた。

北朝鮮の主要輸出品目

(HS2桁、単位：百万ドル、%)

品目	2018	2019			対中 輸出割合
	金額	金額	増減率	割合	
時計および部分品(91)	31	49	57.9	17.8	100.0
鉄鋼(72)	33	35	6.4	12.7	96.0
調製羽毛、及び人髪製品(67)	24	34	40.9	12.3	100.0
鉱石、スラグ及び灰(26)	25	22	-15.2	7.7	100.0
光学・医療用機器及び部分品(90)	12	18	47.5	6.5	90.5

北朝鮮のHSコード部(Section)単位別輸出現況

(単位：千ドル、%)

品目	HS CODE	2017	2018	2019		
		金額	金額	金額	増減率	割合
合計		1,771,852	242,710	277,777	14.4	100.0
動物性製品	01-5	164,851	366	911	148.9	0.3
植物性製品	06-14	110,286	11,922	2,261	-81.0	0.8
油脂及び調整食品	15-24	6,037	3,498	3,766	7.7	1.4
鉱物性生産品	25-27	645,533	48,913	34,294	-29.9	12.3
化学工業生産品	28-38	25,103	15,363	21,083	37.2	7.6
プラスチック・ゴム	39-40	12,628	4,634	8,379	80.8	3.0
皮革・毛皮製品	41-43	1,603	2,668	2,053	-23.1	0.7
木材・わら製品	44-49	16,854	6,731	3,855	-42.7	1.4
繊維製品	50-63	585,066	3,211	4,609	43.5	1.7
履物・帽子等	64-67	18,311	29,039	41,515	43.0	14.9
石・セメント	68-70	6,585	6,708	5,686	-15.2	2.0
貴金属・宝石	71	892	873	635	-27.3	0.2
鉄鋼、金属製品	72-83	94,682	39,519	40,227	1.8	14.5
機械・電気機器	84-85	56,445	13,255	16,983	28.1	6.1
輸送機器	86-89	11,579	4,999	4,298	-14.0	1.5
光学・精密機器	90-92	12,219	45,246	69,336	53.2	25.0
武器	93	0	1	0	-100.0	0.0
雑品	94-96	2,803	5,623	10,713	90.5	3.9
美術品	97	2	3	4	33.3	0.0
未分類	99	373	138	7,169	5,094.9	2.6

■最大の輸入品目は鉱物油(原油、精製油)で、貿易総額の11.7%

輸入上位5品目のうち、穀物以外の4品目は前年度と同じ品目が占め、北朝

鮮の食糧不足の影響から穀物（HS10）の輸入が大幅に増加した。

北朝鮮の主要輸入品目

(HS2桁、単位：百万ドル、%)

品目	2018	2019			対中
	金額	金額	増減率	割合	輸出割合
鉱物性燃料及び鉱物油* (27)	356	346	-2.8	11.7	92.1
プラスチック及びその製品(39)	222	275	23.7	9.3	99.9
人造繊維製品(54)	138	190	36.9	6.4	99.9
動・植物性の油脂及びその分解生産物(15)	160	148	-7.3	5.0	96.9
穀物(10)	28	96	242.0	3.2	87.7

*原油（HS2709）輸入推計額 2.9 億ドル（約 50 万トン）反映

北朝鮮の HS コード部（Section）単位別輸入現況

(単位：千ドル、%)

品目	HSCODE	2017	2018	2019		
		金額	金額	金額	増減率	割合
合計		3,778,051	2,600,774	2,967,167	14.1	100.0
動物性製品	01-5	144,239	109,321	97,598	-10.7	3.3
植物性製品	06-14	161,010	220,812	285,183	29.2	9.6
油脂及び調整食品	15-24	296,939	391,342	404,898	3.5	13.6
鉱物性生産品	25-27	423,137	365,504	358,754	-1.8	12.1
化学工業生産品	28-38	189,544	262,672	270,259	2.9	9.1
プラスチック・ゴム	39-40	294,269	278,864	338,258	21.3	11.4
皮革・毛皮製品	41-43	17,876	11,363	12,535	10.3	0.4
木材・わら製品	44-49	93,216	89,345	100,383	12.4	3.4
繊維製品	50-63	799,881	533,843	659,804	23.6	22.2
履物・帽子等	64-67	57,548	67,168	89,333	33.0	3.0
石・セメント	68-70	94,912	82,606	102,850	24.5	3.5
貴金属・宝石	71	839	722	1,428	97.8	0.0
鉄鋼、金属製品	72-83	221,988	4,699	3,026	-35.6	0.1
機械・電気機器	84-85	611,846	16,546	5,458	-67.0	0.2
輸送機器	86-89	208,130	2,027	493	-75.7	0.0
光学・精密機器	90-92	34,445	59,451	102,287	72.1	3.4
武器	93	101	8	0	-100.0	0.0
雑品	94-96	125,734	103,782	134,454	29.6	4.5
美術品	97	0	457	10	-97.8	0.0
未分類	99	2,397	242	156	-35.5	0.0

■ 制裁に対応する北朝鮮のしたたかな生存戦略

北朝鮮の最大の輸出品であった鉱物性生産品 (HS25-27) の輸出は国連制裁決議の影響により 2018 年に前年比マイナス 92.4% と急激に落ち込み、2019 年にも前年比マイナス 29.9% を記録した。

また、北朝鮮の主力輸出品であった繊維製品 (HS50-63) の場合、2018 年に前年比 99% 以上の大幅な減少を見せたことによるベース効果により、前年比 43.5% 増の 461 万ドルを記録したが、輸出総額に占める割合は 1.7% と微々たるものであった。

国連の経済制裁により輸出で大きな打撃を受けた北朝鮮は、制裁の影響を受けない品目へと主力輸出品目を変更した。

既存の主力輸出品に代わって、新たな主力輸出品として浮上してきたのが、時計および部分品 (HS91) 及び調製羽毛、羽毛製品、造花及び人髪製品 (HS 67) である。

2017 年には総輸出額の 1% にも満たなかった両製品は、2019 年には時計が 17.8% で 1 位、人髪製品が 12.3% で 3 位を占めるようになり、新たな主力輸出品目として定着した。

これらの品目の輸出は前年比で各々、57.6%、40.9% 増を記録し、北朝鮮の輸出を 3 年ぶりの前年比プラスへとけん引したのである。

北朝鮮は、主力となる輸出品目を柔軟に変更させることで、長引く経済制裁に対応するしたたかさを見せた。

■ 新型コロナで厳しさを増す北朝鮮の貿易

北朝鮮の 2019 年の貿易規模はプラスに転じたものの、持続的な貿易拡大傾向につなげるのは厳しい状況にあると思われる。

何よりも、国連の経済制裁は依然として継続しており、これが解除されない限り貿易の低迷を脱するのは難しい。

もう一つは新型コロナウイルスの影響である。北朝鮮は新型コロナウイルスへの対応として、1 月末から中朝国境を閉鎖し物流にも大幅な制限をかけている状況が続いている。その結果、北朝鮮最大の貿易相手国である中国との貿易は今年に入ってから、前年同期比で大幅に減少している。

新型コロナの影響が本格的に数字になって現れるのは 2020 年以降であり、北朝鮮の対外貿易はしばらく厳しい状況が続くとみられる。

本稿の無断転載を禁じます。

詳細は総務本部までご照会ください。

公益社団法人 日本経済研究センター

〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル11F

TEL:03-6256-7710 / FAX:03-6256-7924